

1. めざす学校像

一人ひとりが自分らしい生き方で社会に貢献できるよう、豊かな人間性と確かな学力が育つ学校をめざします。

1. 建学の精神「報恩感謝」を大切にし、教育理念「教育の目的は人をつくること」に基づく教育を実践することにより、人間的な成長・発展を実現し人格の完成をめざします。
2. 生活・学習の両面において基礎・基本を徹底的に行い、社会的自立にむけ、そのため必要な基盤となる能力や態度を育成します。
3. 一人ひとりが持つ可能性を開花させるため、主体的に生きようとする態度と能力を養います。
4. 地域とのつながり強化し、安全で安心な学校をつくります。

2. 中期的目標

1. 建学の精神「報恩感謝」を土台に、独自性の高い教育を開発、実践します。
  - (1) 選び抜いた内容を実践し、改良を加えます。  
指導要領の内容と、独自に開発、改良を加えた学習を組み合わせ実践します。  
定期的に学習内容を公開し、教育関係者の意見をとりにいれて教育内容を精選、改善します。
  - (2) 学校行事の見直し  
子どもの成長の糧となるもの、時代の要請に答えるべき行事を見極め、「何をこそ学ばせるべきか」を熟慮探求します。  
子ども自身の活動を重んじ、実行を助け、その結果を常に振り返るように指導します。
2. 基礎学力と基本的生活習慣の育成
  - (1) 生活習慣をしつける方策と実行時期の熟慮と、集団の中で育む方法を探求  
「何を」「どの機会に」しつけるかを熟慮し、規範を示すことにより、生涯にわたる自律の意識を育む指導を行います。  
意識的に縦割り集団を組織したり、グループ活動を取り入れたりして「みんなでいっしょに」「高学年を敬う」「低学年を育む」を常に考えさせることで、自律の意識を育みます。
  - (2) 基礎学力の徹底  
ひとりひとりの興味関心を大切にし、学習に自信を持たせるように配慮し、意欲的態度や実行力の基礎を養います。
3. 主体的な生き方の尊重  
一人ひとりの興味関心を大切にし、だれにも自信を持たせる教育を行います。  
道徳教育、人権教育を軸に、互いの個性を尊重しあえる土壌をつくります。
4. 教育環境の充実  
学校の美化に全校で取り組みます。
5. 安心、安全な学校づくり  
幼稚園や中学校とのつながりを密にし、相互の教育内容を充実させることにより、長期にわたる同じ方向性を持った指導を行います。  
自他の命を尊び、安全な暮らしを希求する態度を育てるとともに、緊急時の対応を検討することにより、校内の安全性を高めます。
6. 内部連携の強化と募集の充実  
幼稚園・中学校との連携を強化し、募集活動を充実します。

自己評価アンケートの結果と分析 [(平成29年度)平成29年11月実施分]	学校協議会からの意見
<p>評価項目： 教育活動全般及び学校に対する全体的評価を行った                      評価方法： 各項目について、5段階評価を行った                      5：大変そう思う 4：どちらかといえばそう思う 3：普通                      2：あまり思わない 1：まったく思わない                      評価のための資料：児童（3～6年生）アンケート                      保護者（全学年）アンケート                      平成28年度小学校教育計画 平成28年度職員会議録                      ○児童・保護者アンケート集計・平均（カッコ内は児童の平均）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校に入学させて(して)よかった…4.6↑(4.6)</li> <li>・学校は学力向上に力を入れている…4.1(4.5↓)</li> <li>・指導方法は工夫され、分かりやすい…4.2↑(4.3)</li> <li>・主体性、自主性を育む環境が整っている…4.4(4.3)</li> <li>・まじめに授業を受けている…4.2↑(4.1)</li> <li>・行事は楽しく充実している…4.6(4.6)</li> <li>・学校のきまりはいいきまりだ…4.4↑(4.3↑)</li> <li>・きまりの指導に力を入れている…4.2↓(4.5↑)</li> <li>・きまりやマナーを守っている…4.0↑(4.4↑)</li> <li>・児童会活動や係り活動をがんばっている…4.5(4.6)</li> <li>・友だちとうまくいっている…4.2(4.4)</li> <li>・先生と子どもはうまくいっている…4.5↑(4.3)</li> <li>・ケンカいじめに対応する…4.3↑(4.2)</li> <li>・制服、ランドセル、体操服が気に入っている…4.2(4.0↑)</li> <li>・校内の習い事や同好会は充実している…4.4↑(4.2↑)</li> <li>・校内の施設、設備は充実している…4.2(4.1)</li> <li>・教室や学校の中はいつもきれいになっている…4.2(3.9↑)</li> <li>・成績のお知らせやお手紙をきちんと出している…4.2↑(4.6↑)</li> </ul>	<p>前年に続き、指標の変化をみると保護者、児童の満足度は高い水準で維持されている。教職員の指導方法や考え方は支持されていると考える。                      保護者、及び児童アンケートの項目と、それぞれの項目に対応する教職員の自己評価を比較すると、大きなずれはみられない。</p> <p>学校美化に関する児童の指標だけが3点台である。児童がどのような点で低い評価を下しているのかを分析し、清掃方法の改善につなげることが必要である。たとえばほこりの始末について、静電気ではこりを取るような器具を清掃用具に組み込むことでも、児童の指標は向上するのではないかと。</p> <p>それぞれのアンケート項目について、より細かな観点を設定することで問題点が浮き彫りになると考える。例えば制服の満足度についても「コートのボタン位置」や「靴下の足先とかかとの強化」などの個別の希望があり、そういった意見も吸い上げることができるような方策を考える必要がある。</p> <p>学習について、教職員が分かりやすい授業につとめていることが児童の理解と満足度に反映していると考えられる。日々の課題や宿題の量も適切であると判断できる。</p>

## 平成30年度 学校経営計画及び学校評価

### 教職員の自己評価・平均値

個性尊重・実行から学べ・明朗と自主の教育方針に基づいて、具体化を図っている…

4. 0 ↓

十分な検討のもと、年間教育計画を立てている… 4. 0 ↑

教務主任を中心として、機能的に運営されている… 4. 0

全職員研究会・学年会議を、有効に機能させている… 4. 0 ↑

学校経営の財務状況に基づき、健全な運営を行っている… 4. 0 ↓

学校HPの公開掲示板や通信等で、教育活動の情報提供に努めている… 4. 2

緊急時のマニュアル整備や防災訓練など、安全対策をとっている… 4. 0 ↓

教育活動がしやすく、子どもにとっても好ましい環境が整っている… 3. 4 ↑

職員の適切な勤務実態と健康管理につとめている… 3. 5 ↑

分かりやすい授業の実践に努めている… 4. 2 ↓

学習意欲向上に努めている… 4. 3 ↓

学力向上に努めている… 4. 2 ↓

社会的マナー・モラルの定着に努めている… 4. 1 ↓

思いやりのある態度育成に努めている… 4. 2 ↓

保護者との連携に努めている… 4. 1 ↑

人権意識向上に努めている… 4. 1 ↑

自然環境保全の意識向上に努めている… 3. 3 ↓

衛生的で健康な生活の知識技能の指導に努めている… 3. 7

防災や安全に関する指導に努めている… 3. 9 ↓

主体性を重視した指導に努めている… 4. 1

読書指導に努めている… 3. 9 ↓

挨拶など礼儀を重んじる態度の定着に努めている… 4. 0 ↓

時間を守るなど、規則を守る態度の定着に努めている… 4. 3 ↓

物を大切に作る心や、美化意識の向上に努めている… 3. 9

学習の遅れている児童への支援を行っている… 4. 0

問題を抱えた児童や保護者への相談活動に努めている… 4. 0 ↓

きめ細かな進路相談に努めている… 3. 9

活発に、教員間で教育生活指導について、意見交換している… 4. 1 ↓

計画的に、教職員対象の研修が行われている… 3. 9 ↓

個人の研究・研修を支援する制度が整備されている… 3. 7 ↑

外部の研修会などで得た情報を、校内で共有しやすくなっている… 3. 7

### 自己評価の分析

○ 学校運営に関する評価は前年からポイントが下がったものが3と減り、上がったものが4と増えた。

○ 教育内容に関する項目は、ほぼ前年と同様の評価か下がったものの4.0以上で高評価である。10, 11, 12, 21, 25

○ 生活指導について評価が下がったものの4.0以上で高評価である。13, 14, 22, 23

○ 美化意識向上についての評価がほぼ前年と同様低い。24

○ 自然環境保全の意識向上についての評価がすごく低い。17

○ 健康な生活の知識技術の指導についての評価がほぼ前年と同様低い。

○ 進路指導についての評価が若干低い。

○ 教員研修に関する評価のうち、「教育生活指導について意見交換」の項目について評価が高い。

「計画的な教職員研修」の項目について評価が下がった。

「研究研修支援制度」「情報の共有」についての評価がほぼ前年と同様低い。

○ 保護者、児童のアンケートと著しくポイントがずれた項目はない。

○ 学習に関する評価は、保護者、児童、教職員ともおおむね満足していることを示している。

○ 生活指導について評価は、保護者、児童、教職員ともおおむね満足していることを示している。

きまりやマナーの指導も、保護者、児童ともに満足していると考えられる。児童会等の評価が高いので、きまりの啓発、新しい決めごとなどを児童会中心とした活動に任せてもよいのではないか。啓発ポスターや児童の手書きの手紙配布などで、保護者も共通の認識が持てるし、児童も自分たちで作ったきまりだから守ろうとする意識が高まることが期待できる。

行事についての満足度は、保護者、児童ともに高い。継続的に行事内容を刷新していることが反映されていると考えられる。今後も、行事の入れ替えを含めた改善に努力してほしい。自然学校の導入についても、児童は満足しているし、ほかではまねのできない行事が多くあることは好ましい。

職員自己評価のうち、「教育・子どもに好ましい環境」「職員の勤務実態と健康管理」のポイントが低い。健康という目でみた場合、共通する課題があるのではないか。教職員の勤務実態の把握方法を再考し、教職員の健康管理、維持を図る必要があるのではないか。また、「自然環境保全の意識向上努力」のポイントも低い。生活科、社会科、理科、総合科等でのいっそうの努力が望まれる。

総合的に判断して、教職員の自己評価はおおむね評価通りであり、分析も実態に即したものであると考えられる。計画的な教職員研修を軸として、児童の学習意欲を向上させる具体的な方策を検討する必要がある。個人的な教員の研究、研修を支援する制度と、得た情報を共有するシステムも同様である。

# 平成30年度 学校経営計画及び学校評価

## 3. 本年度の取組内容及び自己評価

【学校全体】

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み内容	評価指標	自己評価
1. (1) 選び抜いた内容の実践と改良	1. 「指導要領プラス」をスローガンとしたカリキュラム・教材/教具を模索、実践しその効果を検証します。  2. 5・6年生の英語カリキュラムと教材を開発します。	1. 校内研究授業を計画実践し、今後の研究の深化に役立てます。  2. 指導要領にプラスした独自性のある学習プログラム開発します。  1. 現在まで行われてきた3～6年生のカリキュラムと教材を精選し、2～4年生用に再編します。  2. 5・6年生の英語が教科になることに伴い、新たな教材や教授法を研究、開発します。  3. 複数教員による英語科研究体制を構築します。  ICT研を軸とした研究組織を作り、現行の学習にプログラミングを加味した教材を開発し、実践します。	指導力向上に関する教員自己評価を4.2以上にします。(平成29年度4.2)	(平成30年度自己評価と今後の方策) *30年度自己評価終了後に書き込む予定
1. (2) 学校行事の見直しと改良	1. 全校行事を改良します。  2. 宿泊行事を見直します。	保護者や児童の意見をもとに、体育会や秋まつり、音楽会などに改良を加えます。  修学旅行の行き先と行程を再考します。	保護者、児童アンケートのうち、「行事は楽しく充実している」の評価を向上します。	
2. (1) 基本的な生活習慣の育成	1. 児童の自主性・主体性がより発揮できるよう、児童委員会・係活動・縦割り活動、行事の内容を再検討します。  2. 規律遵守の意識レベルの向上を図ります。	1. 縦割り活動や児童会を通じて、児童自身が校内のマナー向上策を考えられるように活動形態を整備し、活性化を図ります。  2. 児童会活動のシステムを、さらによきものになるように検討を加えます。特に児童会主催のボランティア活動を奨励します。  3. 「自律の手助け」を念頭に置き、各家庭及び学級に配布する「しつけポスター」を指針として家庭と学校が協力し、指導を行います。  1. 特に言葉づかいと姿勢について、教員が範を示し児童が見倣うことのできる機会を積極的に増やします。  2. 登下校のマナー向上のため、職員が交替で通学路に立ち、児童の直接指導に当たります。  3. 校外行事の日、校内に訪問者が来る日を『マナー実践の場』と児童に意識させ、実際の場に応用する機会を作ります。  4. 年度初めに各担任が「学校のきまり」を児童と保護者に説明し、理解と協力を求めます。  5. マナー、しつけについての学期目標を定め、児童と教員に周知しその徹底を図ります。  6. マナー、しつけをテーマにした音楽を作成し、下校時に放送して合唱することで定着を図ります。	主体性に関する教員自己評価を4.1以上にします。(平成29年度4.1)	
			マナー・モラルに関する教員自己評価を4.1以上にします。(平成29年度4.1)	保護者、児童アンケートのうち、「児童会活動や係活動をがんばっている」の評価を向上します。
2. (2) 基礎学力の徹底	1 国語の観点のうち、「書く能力」の向上を図ります。  2. 国語の観点のうち、「聞く能力」の向上を図ります。	1. 国語研究の組織を立ち上げ、研究の軸として機能するように時間と場所を確保します。  2. 「書き、まとめる」「書いて考える」「書いて交流する」授業プランを開発、改良し、複数の教員が授業化することによりプランの質的向上を図ります。  3. 「書くこと」を意識した授業を全カリキュラムに導入し、児童の書いたノート、WS類を校内研究会で研究の対象にします。  4. 統一確認テスト等の学力テストで、基準とする値に達していない児童を抽出し、学級担任および学年補助教員が対象児童の学力向上に努めます。次年度の学力テストでその成果を再調査し、指導方法が有効であったかを検証します。  1. 低学年では「読み聞かせ」を重視し、聞き取った内容や感想を発表し合う場を持ちます。	学力向上に関する教員自己評価を4.2以上にします。(平成29年度4.2)	
			学力テストの、国語の観点別評価項目「書く能力」をすべての学年で前年度以上に引き上げます。	学力テストの、国語の観点別評価項目「聞く能力」をすべての学年で前年度以上に引き上げます。

## 平成30年度 学校経営計画及び学校評価

	<p>3. 教員の指導力向上をはかります。</p>	<p>2. 「読む・書く」の「繰り返し練習」により、「話の要旨を的確に把握して、その内容を理解できる」ための基礎となる知識、特に語彙力を増やします。</p> <p>3. すべての教科で、聞き取ったことをメモしたりノートに取ったりする活動を増やします。</p> <p>4. 統一確認テスト等の学力テストで、基準とする値に達していない児童を抽出し、学級担任および学年補助教員が対象児童の学力向上に努めます。次年度の学力テストでその成果を再調査し、指導方法が有効であったかを検証します。</p> <p>1. 多様な指導形態による個に応じた指導法の開発に努めます。</p> <p>2. 学年主任を中核としたOJTを推進し、若手教員の授業力や児童理解力、学級経営力の育成の日常化を図ります。</p> <p>3. 校長・副校長・教頭、学年主任等を中心として、指導にかかわる相談・支援体制を強化します。</p>	<p>計画的な教員研修に関する教員自己評価を4.0以上にします。 (平成29年度3.9)</p>	
--	---------------------------	--	--	--

## 平成30年度 学校経営計画及び学校評価

3. 本年度の取組内容及び自己評価  
【人権・道徳】

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み内容	評価指標	自己評価
3. 主体的な 生き方の尊重	一人ひとりの興味関心を大切に し、だれにも自信を持たせる教 育を行います。道徳教育、人権 教育を軸に、互いの個性を尊重 しあえる土壌をつくります。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 道徳教育の充実を図ります。教科道 徳への移行をふまえ、週1回の道徳を确实 に実施するとともに、「考える道徳」 「学びあう道徳」の実践を進めます。</li> <li>2. 人権教育の充実を図ります。体験型 の講習会や社会見学、人権を意識した校 外行事を実施し、人権意識の向上をはか ります。</li> <li>3. いじめ等を防ぐために、各学年アン ケートを行い、人権意識を育てます。</li> <li>4. 日記や作文などをもとに、子ども同 士の人間関係を押し量り、よりよい学校 生活を送ることができる環境を整えま す。</li> </ol>	人権意識向上に関する教員自己評価を 4.1以上にします。(平成29年度4.1)	

## 平成30年度 学校経営計画及び学校評価

### 3. 本年度の取組内容及び自己評価

#### 【施設・設備】

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み内容	評価指標	自己評価
4. 教育環境の充実	学校の美化に全校で取り組みます。	1. 児童の自教室の美化意識を向上させることを、校内全体の美化意識向上につなげます。 2. 児童に持ち物を自主的に整理整頓させ、担任は定期的に指導を行います。 3. 児童会・美化委員会が企画立案する駅前清掃、校内清掃を実施します。 4. 職員室の機器管理を徹底し、業務の効率を上げます。 5. 老朽化した設備を改修し、校内の安全性と美化を向上します。	美化に関する教職員の自己評価を4.0以上にします。(平成29年度3.9)  保護者、児童アンケートのうち、「校内の施設、設備は充実している」の評価を向上します。	

## 平成30年度 学校経営計画及び学校評価

### 3. 本年度の取組内容及び自己評価

【環境】

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み内容	評価指標	自己評価
5 安心、安全な学校づくり	<p>1. 児童の生命を守るために、対策をたて取り組みます。</p> <p>2. 児童の安全に対する意識を向上させるため、特別活動や道徳の時間を使って教育を行います。</p> <p>3. 防災対策を強化します。</p>	<p>1. 一般防災に関する対策</p> <p>(1) 防災マニュアルに沿った避難訓練、マニュアルの検討を行います。</p> <p>(2) マニュアルが機能するよう、避難通路や防災用具を定期的に点検します。</p> <p>(3) 緊急集団下校マニュアルに添い、円滑な保護者への引き渡しを目的とした訓練を行います。</p> <p>(4) 緊急時の一斉配信システムを整備します。</p> <p>(5) 宿泊を伴う校外行事では、最初に避難経路を児童に知らせ、必要に応じて避難訓練を行います。</p> <p>2. 不審者等の危機管理</p> <p>(1) 不審者対策危機管理マニュアルにそって危機レベルごとの迅速な対応ができるよう、職員の訓練を行います。</p> <p>1. 「自分のいのちは自分で守る」意識を徹底させ、教職員とともに臨機応変に避難できる子どもを育てます。</p> <p>2. 外部組織と連携し、安全意識向上のための教育を行います（四條畷警察による安全教室、NTTによる安全モラル教室 大阪府少年サポートセンターによる非行防止教室 大阪府警による非行防止教室等）。</p> <p>1. 火災、地震等の防災係を組織します。</p> <p>2. 防災マニュアルを作成し、マニュアルに沿った避難訓練を実施します。</p> <p>3. 不審者対策危機管理マニュアルを作成し、児童に危害が及ぶ危険性を段階的に設定します。</p>	<p>「防災や安全に関する指導」の教員自己評価を4.0以上にします。（平成29年度4.0）</p>	

## 平成30年度 学校経営計画及び学校評価

### 3. 本年度の取組内容及び自己評価

#### 【募集】

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み内容	評価指標	自己評価
6. 内部連携を強化し募集活動を充実	幼稚園・中学校との連携を強化し募集活動を充実します。	<p>幼稚園との連携</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 連絡会・協議会などを通じ教師間の相互理解と交流を深めます。</li> <li>2. 保護者対象の公開授業や説明会を実施します。</li> <li>3. 幼稚園の連携を強化し、内部進学数の増加に努めます。</li> <li>4. 児童による園児との交流の場を設け、小学校の取り組みが園児に伝わる機会を増やします。</li> </ol> <p>中学校との連携</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 連絡会・協議会などを通じ教師間の相互理解と交流を深めます。</li> <li>2. 中学校の連携を強化し、内部進学数の増加に努めます。</li> <li>3. 内部進学の見学指導を強化します。</li> <li>4. クラブ体験や授業体験を設け、中学の活動が小学生に分かる機会を増やします。</li> </ol> <p>募集活動を検討します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 児童募集活動の課題を抽出し、その対策を検討します。</li> <li>2. 入学を検討している保護者に対する、校内外入試説明会・塾説明会・体験授業の方法を検討します。</li> <li>3. 広報媒介を検討します。</li> </ol>	<p>29年度は、幼稚園内部進学者50名でした。(30年度入学者) 今年度は、内部進学者 50名以上を目標とします。</p> <p>29年度は、中学内部進学者62名(63%)でした。(30年度入学者) 今年度は、内部進学者70%以上を目標とします。</p> <p>29年度は、入学者96名でした。(30年度入学者)募集定員90名は、充足しました。今年度も募集定員90名が充足するように努めます。</p>	